

北部保健所(宇佐・高田地区)の感染症情報

2025年 第5週 (1月27日～2月2日)

2月

新型コロナウイルス感染症にご注意ください。(6.80人/定点医療機関あたり)

新型コロナウイルス感染症の対策は、通常の感染症対策に完全移行しました。

県民の皆さんへ<4つのお願い>

- 1.「基本的な感染対策」で感染予防—室内の換気、手洗いの励行、咳エチケット、場面に応じたマスク着用など
 - 2.「ワクチン接種」で重症化予防—高齢者や基礎疾患のある方は、特に接種をおすすめします
 - 3.「体調おかしいな？」は休んで感染の拡大防止—少しでも体調に異変を感じたら、ちゅうちょせず休みましょう
 - 4.検査キット、解熱剤等の常備薬を準備—体調不良時の自宅検査・療養に備え、早めに準備しておきましょう
- 詳しくは大分県のホームページをご覧ください。(https://www.pref.oita.jp/site/covid19-oita/)



インフルエンザの報告数が減少しています。(3.20人/定点医療機関あたり)

突然の高熱と全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が起こり、これらの症状と同時かあるいは少し遅れてのどの痛みやせきなどの呼吸器症状が現れてくる病気で、通常では発熱が2～3日持続したあと、1週間程度で回復しますが時には重症になることもあります。流水・石鹸による手洗い、アルコール製剤による手指消毒を心がけましょう。また、十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょう。乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って、適切な湿度(50～60%)を保つことも効果があります。

感染性胃腸炎の報告数が増加しています。(18.67人/定点医療機関あたり)

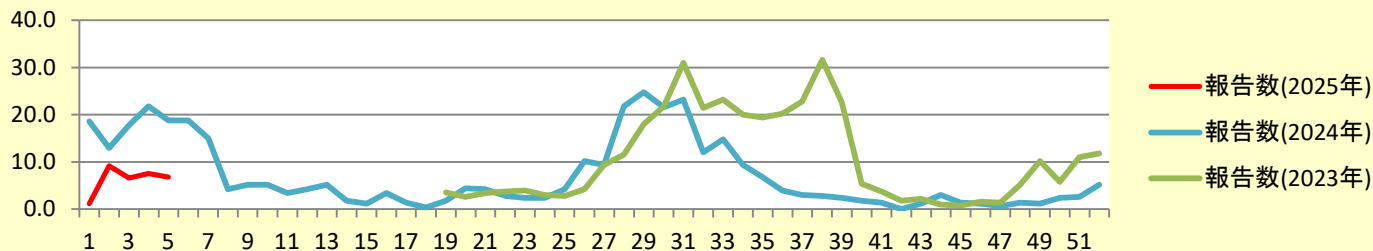
細菌又はウイルスなどの感染性病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はウイルス感染(ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルス)などが多く、そのほかにも細菌性のものもみられます。主症状は嘔吐と下痢であり、脱水症状、電解質喪失症状、全身症状などがあります。嘔吐又は下痢のみの場合や、嘔吐の後に下痢が見られる場合と様々で、症状の程度にも個人差があり、37～38℃の発熱がみられることもあります。集団発生を起こすことがありますので流水・石けんによる手洗いを習慣づけましょう。



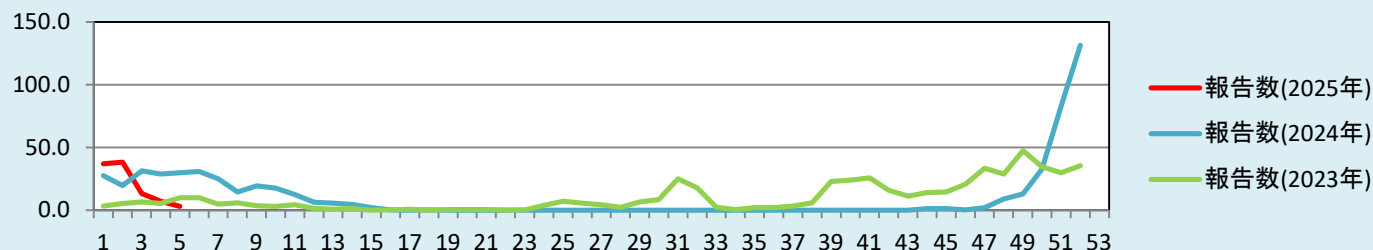
	インフルエンザ			新型コロナウイルス	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(りんご病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎
	A型	B型	不明												
0歳	0.20							0.67							
1～3歳	0.20			0.40				7.00				0.33			
4～6歳	0.60					0.33	1.67	5.33	0.33						
7～9歳			0.20	0.20			0.33	4.00							
10～14歳	0.80		1.00	0.40			0.33	1.67							
15～19歳				0.20											
20歳以上	0.20			5.60											
計	2.00		1.20	6.80		0.33	2.33	18.67	0.33			0.33			
70歳以上(再掲)	0.20			1.80											
前週	6.20		1.00	7.60	0.67	0.33	2.00	12.33							0.67
	7.20														

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上(定点医療機関数 インフルエンザ/COVID-19定点5、小児科定点3)
 ※端数処理のため、合計と年齢ごとの数値は一致しないことがあります。

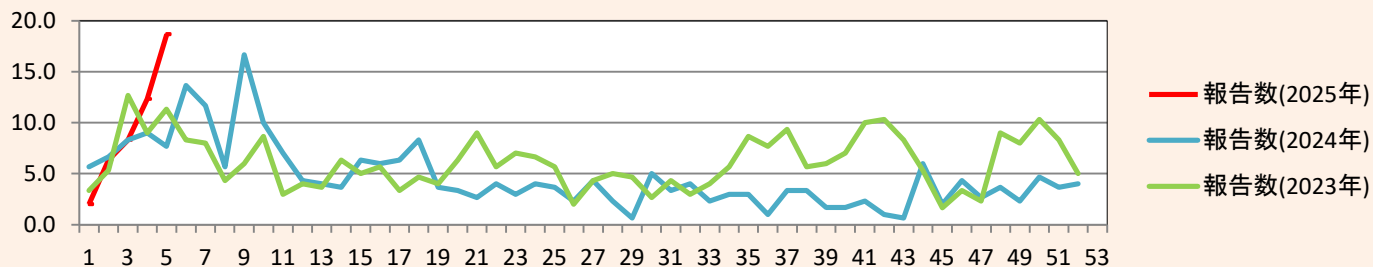
定点当たり報告数 新型コロナウイルス感染症



定点当たり報告数 インフルエンザ



定点当たり報告数 感染性胃腸炎



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

症状	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

- ・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指します。
- ・「注意報」: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

お問い合わせ

北部保健所
豊後高田保健部

0979-22-2210
0978-22-3165

a12089@pref.oita.lg.jp